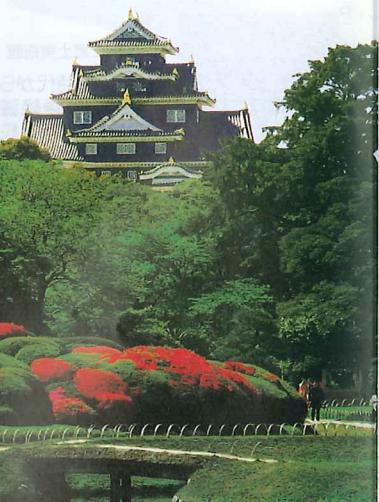
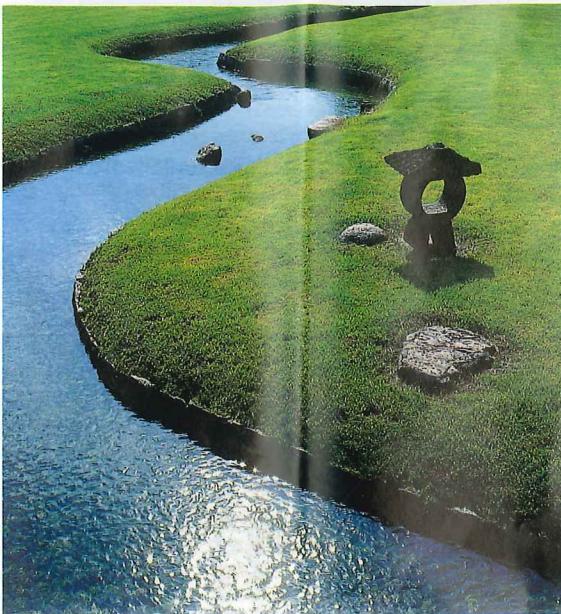


特別名勝

# 岡山後楽園



# 日本三名園の一つ、岡山後楽園は 世界に誇る文化財



名称は、岡山城の後に作られた園という意味で後園と呼ばれていましたが、「先憂後樂」の精神に基づいて造られたと考えられることから、明治4年(1871)後楽園と改められました。

岡山後楽園は、岡山藩主池田綱政公が家臣の津田永忠に命じて、貞享4年(1687)に着工、元禄13年(1700)には一応の完成をみました。その後も、藩主の好みで手が加えられましたが、江戸時代の姿を大きく変えることなく現在に伝えられてきました。

また、江戸時代の絵図や池田家の記録、文物が数多く残され、歴史的な変遷を知ることのできる、地方では稀な大名庭園となっています。

後楽園は、かつて藩主の静養の場、賓客接待の場として使われましたが、日を定めて藩内の人々にも観覽が許されていました。明治17年(1884)に岡山県に譲渡され、一般公開されました。昭和9年(1934)の水害、昭和20年の戦災では大きな被害を受けましたが、江戸時代の絵図に基づいて復旧をおこないました。昭和27年には文化財保護法による「特別名勝」に指定され、後世に伝える歴史的文化遺産として維持管理にあたっています。



# 三百年の歴史が息づく後楽園

岡山後楽園は、江戸時代を代表する大名庭園の一つです。

延養亭や能舞台を中心とした亭舎、園内各所に置かれた茶室や祠には、歴代藩主の思いが込められています。

広い芝生地や池、築山、茶室が園路や水路で結ばれ、歩きながら移り変わる景色を眺めることができます。工夫された回遊式庭園です。



**16 茶畑**  
美しい丸刈りの列が続く茶畑。  
茶葉はやや苦みの強い古種です。

**17 慈眼堂**  
慈眼堂は池田綱政が藩内の平安と池田家の安泰を願って建立した観音堂です。  
今は空堂となっていますが、江戸時代には歴代藩主が厚く信仰していました。

**18 沢の池**  
園内で一番大きな池で、中には島茶屋のある中の島、釣殿のある御野島、白砂青松が美しい砂利島があります。

現況	■ 全地面積 144,000m <sup>2</sup>
	■ 芝生面積 19,600m <sup>2</sup>
	■ 唯心山 高さ約6m
	■ 曲水全長 約640m

## 芝を大量に使った庭

日本に広く自生している野芝を使った、明るく広々とした庭園です。  
築庭当時、芝は沢の池西側の延養亭から見える範囲にだけ使われ、園内の大半は田畠でした。園全体に使われたのは明治以降のことです。



**5 地蔵堂**  
地蔵堂横には築庭当時の樹木と推定されるムクノキが残っています。

**1 延養亭** 藩主が後楽園を訪れた時の居間として使われました。沢の池、唯心山、借景の操山と、園内外の景観が一望できる、後楽園の中心的建物です。

**6 御舟入跡** お城から藩主が舟で渡つてくる時の舟着き場の跡。  
御成御門に続く雁木が見つかり展示しています。

**2 能舞台** 能に熱心であった池田綱政は優れた舞手でもあり、能装束の名品を数多く残しています。時には、藩内の人々が拝見を許されることもありました。現在の建物は戦後再建されたものです。

**3 二色が岡** 築庭当時は、春はサクラ、秋はモミジで彩られた林でした。戦後に杉の木立となり、市街地にあっては珍しく、野鳥が多く飛来する場所となっています。

**3 二色が岡** 築庭当時は、春はサクラ、秋はモミジで彩られた林でした。戦後に杉の木立となり、市街地にあっては珍しく、野鳥が多く飛来する場所となっています。

**4 花葉の池** 東には花葉の滝があり、南西岸には元禄時代初期に巨岩を九十数個に割って運び、元の形に組み上げた「大立石」があります。6~8月頃には白いハス「一天四海(通称大名ハス)」が見頃となります。

**曲水** 昔は旭川の約4km上流から対岸まで引いた後楽園用水を利用していましたが、今は伏流水をくみ上げています。その水を池や滝に上手に利用し、優れた水の景色を作り上げています。

**19 鶴舎 (タンチョウ)** 江戸時代から鶴が飼育されていましたが、戦後絶滅しました。岡山の旧制第六高等学校に学んだことのある中国科学院院長の郭沫若氏からタンチョウ2羽が贈られました。その後、鈴鹿市の協力もあり、多くが生まれ育ち、その美しい姿が園内によみがえりました。

**20 馬場・弓場** 後楽園は藩主の楽しみの場としてだけでなく、文武両道を怠らぬよう武芸の場も設けられました。家臣が武芸の上達ぶりを披露する行事も行われ、藩主は観騎亭や観射亭からご覧になりました。



写真 難波 由城雄

夏



9 流店 亭舎の中央に水路を通し、中に美しい色の石を配した、全国でも珍しい建物となっています。かつては、藩主の庭廻りの時に休憩所として使われ、簡素なたたずまいを伝えています。

10 八橋 八橋に添えてカキツバタが植えられています。この組み合わせは、「伊勢物語」の「東下り」にちなんだものです。

11 花交の池

花交の池周辺は、築庭  
水辺のももくん  
当時はヤマザクラや花木を中心とした景色でした。花交の滝に花が映えて美しい様子を詠んだ和歌も残っています。園内を巡ってきた曲水の水は、この池から旭川に戻っていきます。

12 茶祖堂 幕末の家の下屋敷にあつた利休堂を、明治20年頃に移築したものです。戦後再建され、岡山の生まれで「茶」を日本に伝えた栄西禅師も一緒にまつられたことから「茶祖堂」と呼ばれるようになりました。

13 梅林 早春、他の花に先駆けて、紅白、一重、八重と約100本の梅が咲き、香りをただよわせます。

秋



15 井田・井田のバス 井田は、かつて園内に広がっていた田畑のなごりで、中国周時代の田租法にならう幕末に形作られたものです。2000年の時を経てよみがえった大賀バスは6~7月頃が見頃です。

14 千入の森 モミジが100本近くあります。春の新芽の芽吹きの頃と、錦を織りなす秋の紅葉は絶景。園内名勝の一つとなっています。

流店と花菖蒲畑

7 廉池軒 園内に点在する亭舎の中で、池田綱政が最も好んで利用していたものです。廉池軒からの眺望は、水の景色に優れています。

8 唯心山 池田綱政の子、継政が作らせた約6mの築山で、園内が見渡せます。ツツジの咲く頃は絶景となります。

## 三百年の歴史が息づく後楽園

岡山後楽園は、江戸時代を代表する大名庭園の一つです。

延養亭や能舞台を中心とした亭舎、園内各所に置かれた茶室や祠には、歴代藩主の思いが込められています。

広い芝生地や池、築山、茶室が園路や水路で結ばれ、歩きながら移り変わる景色を眺めることができるよう工夫された回遊式庭園です。



唯心山のモミジ

### 芝を大量に使った庭

日本に広く自生している野芝を使った、明るく広々とした庭園です。築庭当時、芝は沢の池西側の延養亭から見える範囲にだけ使われ、園内の大部分は田畠でした。園全体に使われたのは明治以降のことです。

現況

■全体面積	144,000m <sup>2</sup>
■芝生面積	19,600m <sup>2</sup>
■唯心山	高さ約6m
■曲水全長	約640m

18 沢の池

園内一番大きな池で、中には島茶屋のある中の島、釣殿のある御野島、白砂青松が美しい砂利島があります。

沢の池の雪景色

## 四季催事

冬

- 12月下旬 冬の和のおもてなし  
1月1日~3日 初春祭  
2月上旬 芝焼き  
2月下旬 松のこも焼き



春

- 3月上旬 春の和のおもてなし  
3月2日 開園記念日  
4月第一曜日 御神幸  
4月下旬 栄西茶会  
5月第三曜日 茶つみ祭  
5月下旬 初夏の延養亭特別公開



夏

- 6月第二曜日 お田植え祭  
7月第一曜日 観蓮節  
8月 夏の幻想庭園



秋

- 旧暦8月15日 名月観賞会  
10月上旬 能をたのしむ会  
10月下旬 松のこも巻き  
10月下旬 秋の延養亭特別公開  
10月下旬~11月中旬 菊花大会  
11月3日 後楽能  
11月下旬 秋の幻想庭園



## ■開園時間

3月20日~9月30日 午前7時30分~午後6時  
10月1日~3月19日 午前8時~午後5時

●入園は閉園時間の15分前までとなります。

## ■入園料

大人 (15歳以上65歳未満)	400円
小人 (小・中学生)	140円
シニア (65歳以上)	140円
団体 (20人以上)	2割引
(高校生以下)	無料

(※平成28年4月1日~平成29年3月31日)

## ■共通入園料

後楽園・県立博物館 大人520円  
後楽園・岡山城 大人560円 小人260円  
後楽園・岡山城・林原美術館 大人960円

●休館日、特別展開催中(準備期間を含む)は発売を中止します。

## ■年間パスポート

大人2050円 小人820円  
65歳以上820円

## ■駐車料金

普通車 1時間 100円  
バス 1日1回 610円



## 岡山後楽園ナビ

日本三名園のひとつ岡山後楽園を  
知って・楽しむアプリ



後楽園ナビ

検索



- 岡山 ICから車で20分 (約8km)
- JR岡山駅から徒歩25分 (約1.8km)  
市内電車 東山行で4分「城下」下車徒歩10分
- 岡電バス「藤原団地」行で15分「後楽園前」下車すぐ



# 岡山後楽園

<http://www.koraku-en.mobi/>

〒703-8257 岡山市北区後楽園1-5

Tel 086-272-1148 Fax 086-272-1147

<http://www.okayama-koraku-en.jp/>

催事、入園料等は平成28年度のものです。 平成28年7月作成